

## 資料 2－2

### 曾我地区からの要望について

#### 1 曾我公民館での説明会開催までの経緯

日 時	依頼者	内 容	備 考
12月		広報とともに小中一貫教育により 滝野地域特別版第4号を滝野地域へ 回覧	資料1 P.8
1月 4日	曾我地区未就学 園児保護者 (開校時1年生)	上記の回覧を見て、曾我公民館にも スクールバス乗降場所を設けてほしいと要望をいただく。	距離、通学路 への不安 集約理由等
1月 5日	曾我地区区長	未就学園児保護者、子ども会保護者の 声を聞いてほしい、再度、これまでの 経緯を説明してほしいとの要望をい ただく。	
1月 18日	区長、保護者他曾我 地区住民15名出席  小中一貫教育推進室 4名出席	・曾我公民館で説明会を開催 ・事務局から滝野地域小中一貫校通 学方法のこれまでの経緯を説明。 (滝ノ上公園決定までの経緯) ・曾我地区から、乗降場所を曾我公民 館に設けてほしい理由を聞く。	資料1.2 参考資料  下記の要望

#### 2 スクールバス乗降場所を曾我公民館に要望する理由

子どもたちの安心・安全を守ることができる。

- (1) 通学に際し、安全上問題のある国道175号線沿い、吉馬川沿いを通らなくてすむ。
- (2) 乗り遅れるリスクを回避できるだけでなく、乗車の人数把握も短時間に、正確に  
することができる。
- (3) 下校時1人だけで、約2kmを歩いて帰らないといけない子どもが出てきてしまう。

令和10年度

学年	人数
6年	1名
5年	
4年	
3年	3名
2年	
1年	1名

令和11年度

学年	人数
6年	
5年	
4年	3名
3年	
2年	1名
1年	1名(1名)

- (4) 曾我公民館には屋根のある建物があるため、真夏日の直射日光、突然の雷雨、風雨から  
避難することができる。
- (5) 見守り隊の方の負担軽減→持続可能な形へ